

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38583
事業名	商業者グループ販売促進支援費					
評価担当課	所属名	経)産業振興部 商業・経営支援				
	課長名	高橋 忠浩	担当者名	西出 友成	電話番号	011-211-2372
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	
事業の性質	<input type="radio"/> 経常経費	<input checked="" type="radio"/> 臨時的経費				
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理			
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営	<input type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input checked="" type="radio"/> 補助助成	<input type="radio"/> その他
	目的	短期	新型コロナウイルスの影響により減少した市内飲食・小売・生活関連サービス業の売上の回復及び消費喚起を図り、事業実施期間中の売上を向上させることで、短期的な資金繰りを安定させる。			
		長期	「新しい生活様式」や「新北海道スタイル」を踏まえ、ウィズ/アフターコロナの時代に即した販売促進手法の定着を図る。			
	取組内容	新型コロナウイルスの感染拡大により、経営上大きな影響を受けている飲食サービス業、小売業等を営む100以上の市内店舗のグループが取り組む「デジタル」や「オンライン」を活用した販売促進活動に対して、その費用を補助する。 <補助額> ・300店舗以上 上限9,000万円 ・200～299店舗 上限6,000万円 ・100～199店舗 上限2,000万円				
実施結果	13グループの取組を採択し、各グループの販売促進活動に対し、総額398,729千円を支援した。令和3年4月以降の感染拡大により、各グループの事業開始が計画から遅れるなどの影響はあったものの、新型コロナウイルスの感染拡大により、経営上大きな影響を受けた飲食店や小売店等(2,000店舗以上)の一定の売上回復を図ることができた。					
事業実施における工夫点	個々の店舗への支援とするのではなく、グループへの支援とすることで、スケールメリットを生かしつつ、幅広い店舗の売上回復を図るスキームとした。					
対象者	市内で小売、生活関連サービス業などを営む中小事業者による団体	開始	令和2年度	終了	令和3年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市商業者グループ販売促進支援事業補助金交付要綱、札幌市商業者グループ販売促進支援事業補助金交付要領					
他都市の状況	・福井県:ショッピング・エイドinふくい消費喚起キャンペーン事業補助金(補助上限3,000万円、10/10補助) ・静岡市:R3地域消費促進事業(補助上限700万円、値引き券発行分は10/10、事務費分は2/3補助)					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	451,325	510,000	398,804	0	
うち特定財源	451,325	510,000	398,804	0	
人工	0.3	0.3	0.3	0.0	
人件費	2,160	2,160	2,160	0	
計(事業費+人件費)	453,485	512,160	400,964	0	
事業費の内訳	令和3年度決算	・選考委員会の委員報酬:75千円(12,500円×3日分×2名) ・採択グループへの補助金:398,729千円 (詳細) ・300店舗以上 1件 74,660千円 ・200～299店舗 2件 102,731千円 ・100～199店舗 10件 221,338千円)			
	令和4年度予算	終了			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	採択グループ数		
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		34グループ	10グループ	13グループ	
活動指標2		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1		指標名	補助により売上回復が図られた店舗数		
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
		2,431店舗	2,000店舗	2,243店舗	
成果指標2		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	令和3年4月以降の感染拡大により、各グループの事業開始が計画から遅れるなどの影響はあったものの、各グループの販売促進事業に総額398,729千円を支援し、新型コロナウイルスの感染拡大により、経営上大きな影響を受けた飲食店や小売店等(2,000店舗以上)の一定の売上回復や資金繰りの安定につながる取り組みとなったと考えている。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	他都市において実施している事業者の販売促進活動への支援と比較しても、補助対象経費や対象者等に大きな違いは無いところ。補助上限額については、比較的高いものとなったが、新型コロナウイルスで影響を受けた事業者の支援として、消費者還元分を多く計上したことによるものであり、事業目的に見合う適正な規模であると考えている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	短期的な売上回復や資金繰りの安定という目的にとどまらず、ウィズ/アフターコロナの販売促進手法の定着という長期的な目的達成のためには、事業者が主体的に取り組むことが必要であり、その促進のためには、補助金と言う手法が適切と考えている。(他都市においても、事業者の販売促進活動の支援は補助金という形で支援している)			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	成果指標としていた2,000店舗以上の売上回復を達成し、新型コロナウイルスの感染拡大により、経営上大きな影響を受けていた事業者に対し、一定の支援を届けることができたことから、満足度の高い事業であったと評価する。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	新型コロナウイルスの影響が長期化し、飲食店等は依然として経営上大きな影響を受けている。また、消費喚起においても、感染リスクを低減させた形での実施が不可欠であり、より一層オンラインやデジタルを活用した形での消費喚起策の実施が必要。また、採択事業者によっては、事業期間が短くなったことに対応できず、十分な販売促進活動ができなかったため、事業管理などのサポートも必要と考えている。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	無し			見直し効果額 (前年度)	0千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	新型コロナウイルスの感染拡大により、経営上大きな影響を受けた飲食店等(2,000店舗以上)の売上回復を図るという事業の目的を達成することができたため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止 R4年度廃止事業のため無し。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 R4年度廃止事業のため無し。			見直し効果額